

# 自然環境分野における政策の方向性(案)

2015年6月12日

# — 目 次 —

課題認識	1
政策の方向性	2
地域別に見た主な取組	3
公益的な機能を有する多摩の森林地域	4
自然豊かな里山を残す丘陵地	5
既存の緑が減少しつつある市街地	6
世界自然遺産である小笠原諸島などの島しょ部	7
共通項目	8

## 課題認識

- あらゆる機会を捉えて、緑の量を確保する施策を推進する必要
- 生物多様性など緑の質にも配慮した施策を展開することで、生きものと共生する都市づくりを進める必要
- 自然公園等の利用を通じて、生物多様性の普及啓発を図るとともに、多様な主体との連携による自然環境の保全・回復活動を推進していく必要



2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機会も捉えて、緑の量・質ともに配慮した施策を多様な主体と連携しながら推進することで、都市化が進行した成熟都市における「生態系に配慮した緑の回復モデル」(仮)の構築を目指す。

## 政策の方向性

### 《政策の柱》

自然環境の保全・みどりの創出により、自然豊かで多様な生きものと共生できる都市環境を次世代に継承

- 「緑施策の新展開 ～生物多様性の保全に向けた基本戦略～」で掲げた、「まもる」、「つくる」、「利用する」の3つの行動方針に基づき、政策を展開
- 東京の多様な自然・生態系を保全するため、地域特性に応じた自然環境を保全・創出する取組を検討・実施

### 【「緑施策の新展開」における主な政策体系】

<p style="text-align: center;">&lt;まもる&gt; ～緑の保全強化～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既存の緑の保全など、より質の高い緑の確保</li> <li>○生物多様性に配慮した希少種の保全・外来種対策</li> <li>○新たな人材確保と多様な主体の参画による自然環境の保全</li> <li>○人の働きかけによる緑の質の向上</li> <li>○野生動物の適正管理の推進</li> </ul>
<p style="text-align: center;">&lt;つくる&gt; ～緑のネットワーク化～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あらゆる都市空間における緑の創出</li> <li>○都市の緑の質を向上させるエコロジカル・ネットワークの構築</li> </ul>
<p style="text-align: center;">&lt;利用する&gt; ～緑の持続可能な利用の促進～</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然の保護と適正利用の推進</li> <li>○生物多様性の普及啓発の推進</li> <li>○自然環境保全を担う人材育成の推進</li> </ul>

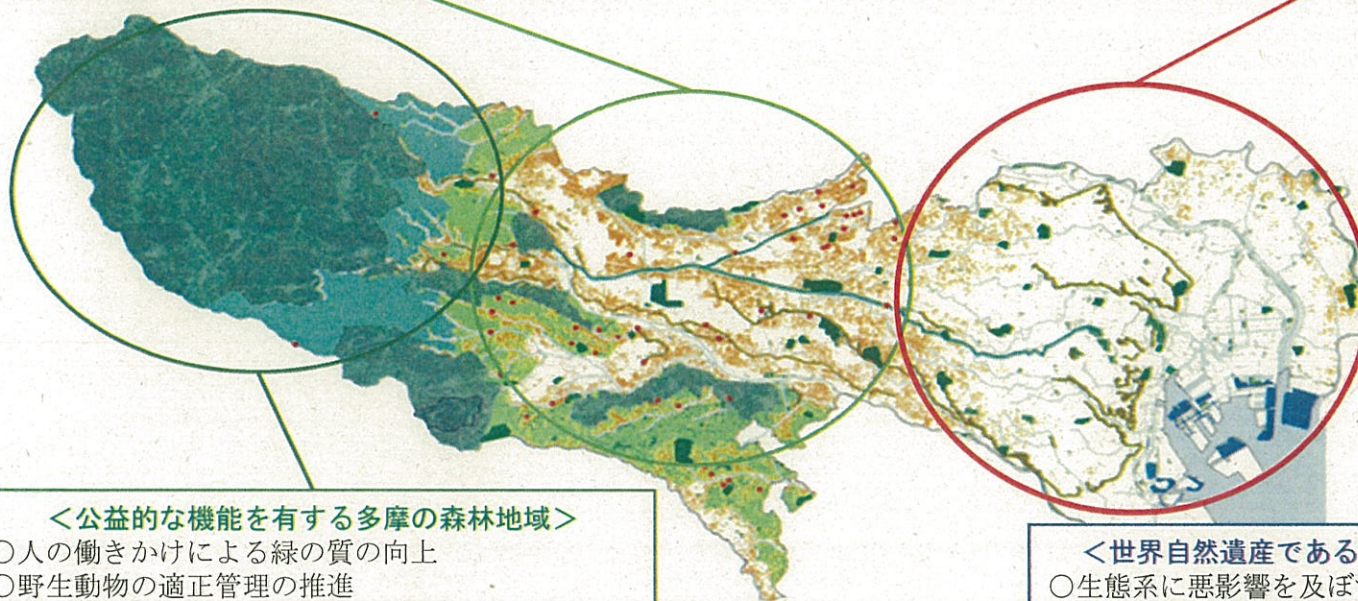
## 地域別に見た主な取組

### <自然豊かな里山を残す丘陵地>

- 既存の緑の保全など、より質の高い緑の確保
- 生物多様性に配慮した希少種の保全・外来種対策
- 新たな人材確保と多様な主体の参画による自然環境の保全

### <既存の緑が減少しつつある市街地>

- あらゆる都市空間における緑の創出
- 都市の緑の質を向上させるエコロジカル・ネットワークの構築
- 人に健康被害を及ぼす外来種対策の推進



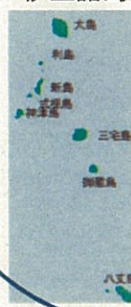
### <公益的な機能を有する多摩の森林地域>

- 人の働きかけによる緑の質の向上
- 野生動物の適正管理の推進
- 自然環境の保護と適正利用の推進

### <世界自然遺産である小笠原諸島などの島しょ部>

- 生態系に悪影響を及ぼす外来種対策の推進
- 自然の保護と適正利用の推進

#### 伊豆諸島



#### 小笠原諸島



### <共通項目>

- 生物多様性の普及啓発の推進
- 自然環境保全を担う人材育成の推進
- 「緑の東京募金」を通じた自然環境保全の気運醸成

## 公益的な機能を有する多摩の森林地域

### ○人の働きかけによる緑の質の向上

- ・多摩の森林について、間伐・枝打ちに加え、本来存在していた広葉樹の回復等を通じて、針葉樹・広葉樹の混交林化を進め、生きものの生息空間としての機能を向上

### ○野生動物の適正管理の推進

- ・自然植生や森林の生態系に影響を与えるニホンジカ等野生動物の適正な管理

### ○自然環境の保護と適正利用の推進

- ・自然公園利用者の増加や、多様化が進む中、自然公園利用ルールの普及啓発などにより、自然環境の保護と適正な利用の両立を図る
- ・標識の多言語対応・Wi-Fi環境の整備など利用者の利便性の向上

【森林再生】



【ニホンジカ】



【トレイルランの大会風景】



## 自然豊かな里山を残す丘陵地

### ○既存の緑の保全など、より質の高い緑の確保

- ・ 将来に残すべき貴重な都内の自然地について保全地域への指定を着実に実施
- ・ 開発許可制度による一定の緑地の確保
- ・ 生態系への影響・配慮の度合いを定量的に評価する「生態系評価手法（まもる緑）」を構築し、開発行為に対して生態系に配慮するよう誘導

### ○生物多様性に配慮した希少種の保全・外来種対策

- ・ 保全地域における希少種保全対策を強化
- ・ アライグマなど外来種の防除を行う区市町村を支援

### ○新たな人材確保と多様な主体の参画による自然環境の保全

- ・ 企業・大学等とのパートナーシップのもと、引き続き、丘陵地等の緑地を保全
- ・ 自然体験プログラムを実施し、新たな人材の掘り起こしを実施するとともに、自然環境保全を担う人材を確保

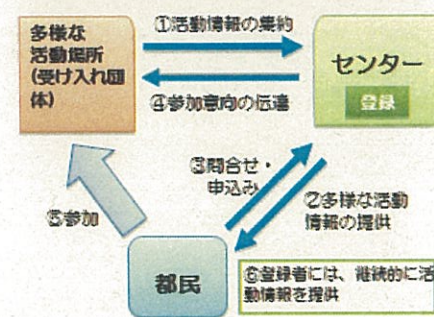
【八王子堀之内里山保全地域】



【外来生物 アライグマ】



【森林・緑地保全活動情報センター】



## 既存の緑が減少しつつある市街地

### ○あらゆる都市空間における緑の創出

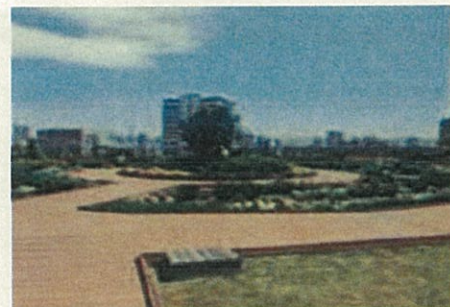
- ・緑化計画書制度による新たな緑の創出
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、花と緑の緑化を推進
- ・都市計画公園や緑地の整備、水辺の緑化などを推進（東京都長期ビジョン）

### ○都市の緑の質を向上させるエコロジカル・ネットワークの構築

- ・「在来種選定ガイドライン」やモデル事業等による在来種の植栽・管理手法の検証等の成果を生かし、生物多様性に配慮した植栽を推進
- ・生態系への影響・配慮の度合いを定量的に評価する「生態系評価手法（つくる緑）」を構築し、都市部において生態系に配慮した開発を誘導
- ・エコロジカル・ネットワーク構築に都民・企業等の参画を促す仕組みも検討

### ○人に健康危害を及ぼす外来種の侵入に備え、区市町村との連携体制の整備や都民への普及啓発を推進

【屋上緑化】



【エコロジカルネットワーク】



【セアカゴケグモ】





世界自然遺産である小笠原諸島などの島しょ部

伊豆諸島

- 生態系に悪影響を及ぼす外来種対策の推進
  - ・伊豆大島におけるキョン防除事業の推進
- 自然の保護と適正利用の推進
  - ・御蔵島における東京都版エコツアーリズムの推進

小笠原諸島

- 生態系に悪影響を及ぼす外来種対策の推進
  - ・外来種対策、固有種保護対策を国、地元自治体、NPO等と連携して実施
- 自然の保護と適正利用の推進
  - ・小笠原諸島における東京都版エコツアーリズムの推進

【大島 キョン】



【小笠原 固有亜種 アカガシラカラスバト】



【小笠原 南島・扇池】



## 共通項目

### ○生物多様性の普及啓発の推進

- ・ 都営地である「高尾の森自然学校」において民間の資金やノウハウを活用した環境体験学習を推進
- ・ ビジターセンターや都民の森等を活用し、生物多様性の重要性を普及啓発
- ・ 自然公園を生物多様性の情報発信拠点として活用

【高尾の森自然学校】



【ECO-TOP エコプロダクツ2014出展】



### ○自然環境保全を担う人材育成の推進

- ・ 東京都が大学の教育課程を認定し、行政・NPO・企業等の連携のもと、自然環境分野で活躍する幅広い人材の育成を推進

### ○「緑の東京募金」を通じた自然環境保全の気運醸成

【緑の東京募金の充当事業】

